



自律的学習者を育成する放課後学習のスタイル「JOSHO+」

常翔学園

<https://www.highs.josho.ac.jp/>



面倒見の良さと年々人気を集める同校の放課後学習プログラムといえば、何と言っても「Josho+」だ。学校内ですべての勉強が完結、通塾の必要がない常翔学園独自の学習システムだ。自分で学習計画を立て、進んで自学自習ができる自律的学習者を目指し、学習習慣の定着がもっとも大切な中学1年生から全員で取り組む環境が用意されている。

サポート体制も充実。担当スタッフと担任、教科担当者が生徒情報を共有し、学習計画作成から進捗状況のフォローアップ、わからない問題の質問対応まで行ううえに、保護者との定期面談ではご家族にも学習進捗状況が提供されるので安心だ。平常時は20時頃まで利用可能、長期休暇中も開室、オンラインにも対応したAI教材「ataman+」も活用できるため、自宅学習にも効果的。継続的な学習習慣の定着と飛躍へ「Josho+」を有意義に活用したい。

各学年で関西大学との多彩な連携プログラムを実施し、大学での「幅広い学び」を体感する。中1では社会安全学部を訪問。大学の先生からの講義や事前学習で作成したハザードマップの発表、非常食カレーの試食、キャンパスツアーなどを体験し、災害発生のメカニズムや危険に対する対策を学ぶ。中2では理工系3学部の研究室を訪問。学部生や大学院生と一緒に活動し実験を行うことで、「理系」への興味付けや学習意欲の向上を図られる。また彼らへのインタビューを通して、大学進学への興味関心を高める。中3では法科大学院との連携プログラムで、弁護士の方を交えて模擬裁判を実施し、司法に関する理解を深める。関西大学とのスケールメリットを最大限活用して幅広い学びを実現し、多様な進路ニーズに応えている。



併設大学と連携したフィールドワーク



関西大学北陽

<https://www.kansai-u.ac.jp/hokuyo/junior/>

同校の大きな特長として挙げられるのが、学園内に多様な学部・学科を持つ3大学を併設していること。大学は最先端の教育と研究が集結しており、中学生にとっても魅力の詰まった場所であることは間違いない。同校では中大連携授業を積極的に実施している。大学プログラムでは、中学3年間を活用してものづくりから工学、情報科学、薬学や農学、経済にいたるまで幅広い分野を授業で体験していく。この体験を通じて自分の知的好奇心を高めることはもちろんだが、大学の研究内容を実際に体験することで将来の進路選択や職業選択の際に大きな効果をもたらしている。変化の激しい時代を生きる上で、社会から求められるものはものすごい速さで変化を続けていく。そんな将来の予測が困難な時代に立ち向かう対応力を培うことができる同校の魅力はより一層輝きを増している。



併設3大学と連携！知的探究心を育む学び



常翔学園

<https://www.highs.josho.ac.jp/>



知的好奇心の旺盛な生徒たちは、「知」の探検隊

関西学院千里国際

<https://www.kwansei.ac.jp/sis>

探究科目は6年間の一貫した教育の中で取り組まれる。中等部での、自分や社会を「問う」能力の養成から始まり、高校ではフィールド調査（大学を含む5カ所から選択）を基に自分の考えを英語や日本語の論文にまとめ発表する。専属のメンター教員が論文完成までを個別サポート。多彩な授業「平和学や模擬国連（英語）」も生徒たちの探究心を高める。同校は、2010年に関西学院と法人を合併。同じキャンパス内に大阪インターナショナルスクールを併設しており、一部の授業や学校行事、クラブ活動を合同で行い、従来型の学校教育では難しかった真の国際教育、つまり多彩な文化のもとで生活してきた生徒たちの体験や視点を十分に生かした教育を展開するクリエイティブスクールなのだ。



創造力を育むクリエイティブな授業

常翔学園

<https://www.highs.josho.ac.jp/>

同校の音楽の授業では、iPadや「Garage Band」というアプリを活用して教室内外でのサウンドスケープや音のサンプリングに写真やポエムをコラージュした作品制作をする。これは、プログラミングスキルの習得やクリエイティブな体験を通じた創造力の育成が目的であり、ICTを活用した教育の先駆者として時代をリードする同校らしい取り組みである。また、曲をすべて自分で制作することが、自分自身で選び・決定するという生徒の主体性を飛躍的に向上させている。感じるままに自分の心を表現する力は、将来実社会において活躍できる礎となるだけでなく、生涯を通じて豊かな人生を送るための大切なエレメントである。これらを在学中に獲得できているからこそ「自主・自律」の精神を持ち、目的意識を持った進学が毎年実現できているのだろう。